



さようなら対面点呼、 こんにちはリモート運行管理

国交省の安全プラン2025と、昨今の監査結果から
運行管理デジタル化政策と点呼規則改正ロードマップを読む

2/22
(月)
13:30~15:00

3/2
(火)
10:30~12:00

【開催方法】:ZOOMによるオンライン形式(30分前よりご参加頂けるよう調整致します)

【申込み方法】:下記URLよりウェビナー登録をお願い致します。

2/22開催 https://zoom.us/webinar/register/WN_iOjkCc7zQYKpX4ovClet3A

3/2 開催 https://zoom.us/webinar/register/WN_C-aY1mHPTGS5EHAEQuVPpg

「2月8日 次期事業用自動車総合安全プラン2025のパブリックコメントが締め切られました。この「プラン2025」は、国土交通省の来年以降の安全政策の予算・方向性が凝縮されています。コロナ禍の影響は実に大きく、このプラン2025からは、アフターコロナを想定した点呼や運行管理の将来の姿が垣間見えます。運輸業で安全管理に携わるみなさんと一緒に、しばし数年先に思いを馳せながら、当社の現在のクラウドサービスや今後の展開をご紹介させていただきます。

事業紹介
(10分)

＜東海電子ホールディングス 事業内容＞

- ・東海電子のウェブメディア 『運輸安全ジャーナル』
- ・東海電子の EC サイト 『運輸安全 SHOP』
- ・東海電子製品サポートサイト 『運安全サポート』
- ・飲酒、薬物教育・コンサルティング事業

Part I
(40分)

＜点呼の未来と、運行管理者の未来＞

- ・デジタルガバメント国交省版からわかること
- ・「対面点呼が重要」は、神話か？事実か？
- ・監査と行政処分から見る、運行管理の課題？
- ・IT点呼と、ロボット点呼、の違いは？
- ・ヒト運行管理者 VS AI 運行管理者
- ・点呼データ運行データ電子化の落とし穴
- ・5年後の運行管理者の役割って？



休憩 (5分)

■スピーカー

運輸安全 JOURNAL 編集長東海電子ホールディングス 代表取締役 CEO

杉本 哲也

Part II
(40分)

＜東海電子のクラウドサービス 『運輸安全 PRO』 ご説明＞

- ・お客様が持続的に安全を証明しつづける『運輸安全クラウド』
- ・デジタル化された運転者台帳をクラウドで。
- ・デジタル化されたアルコールチェックデータをクラウドで。
- ・デジタル化された血圧チェックデータをクラウドで。
- ・デジタル化されたストレスチェックデータをクラウドで。

